

# 防災豆知識 vol.10



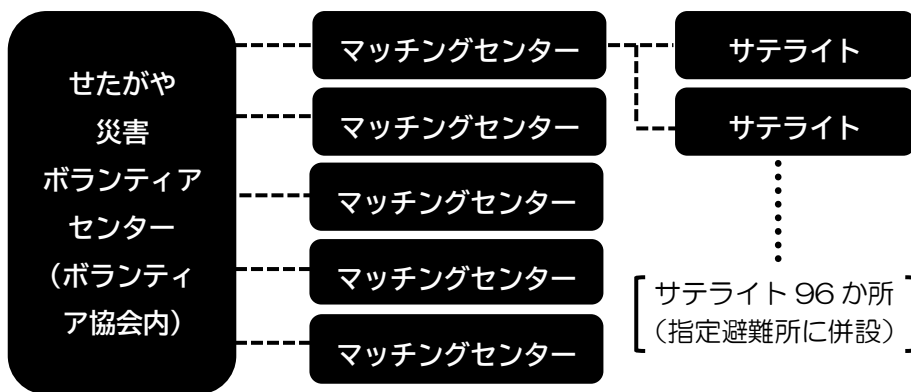
令和7年4月15日  
梅丘まちづくりセンター

## テーマ「世田谷で直下地震が起きたら、ボランティアは？」 その9 災害ボランティア

能登半島地震で大きな被害があったことは皆さんの記憶に新しいことと思います。被災者だけでは到底手に負えず、世田谷を含む全国からのボランティアが被災地で大きな力となりました。今回は、震災時に災害ボランティア活動が世田谷区でどのように行われるのか、ご紹介します。

### ●世田谷区の災害ボランティアのしくみ

災害ボランティアセンターは、大半の自治体では災害発生後に立ち上げますが、世田谷区では世田谷ボランティア協会に常設して、常日頃から備えています。区内5地域の活動拠点を



「マッチングセンター」と呼び、協力協定を結んだ区内5つの大学に設けられます（北沢地域では、国士舘大学）。

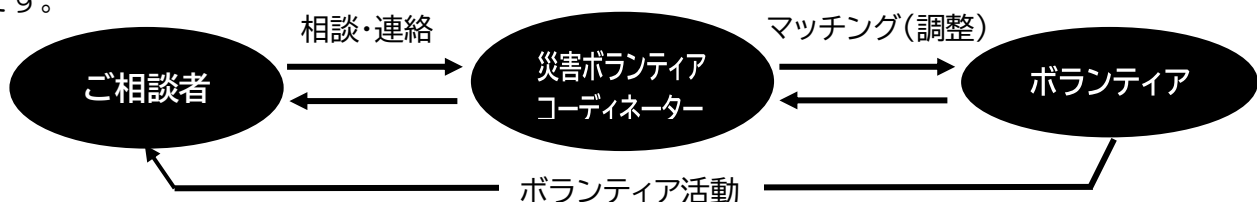
サテライト 96 か所が全国から集まるボランティアの受付拠点となり、ここで活動登録を済ませ

たボランティアは、区立小中学校などの指定避難所に併設されるボランティア活動拠点で地元のボランティアとともに活動します。この拠点を「サテライト」（「衛星」の意）と呼び、このしくみは世田谷区の地域防災計画に定められています。

### ●災害時のボランティア活動拠点「サテライト」では何をする？

サテライトの活動場所として、ボランティアがオリエンテーションやマッチングを受けるスペース、活動に使う資機材置場、相談を受け活動調整など事務処理を行うスペースが必要となります。サテライトでは地元の被災者からの依頼を受け、ボランティアの活動内容や派遣先の調整を、マッチングセンターと連携して行います。

この調整役を担うのが、災害ボランティアコーディネーターで、せたがや災害ボランティアセンターが各地域で開催する「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受講した方々です。



## ●災害時に「サテライト」に寄せられる相談は？

相談者から寄せられる内容は多岐にわたります。在宅避難された方や、避難所においても自宅の状況により支援が必要な方などのニーズに応じて、他の機関と役割分担・連携しながら対応にあたります。指定避難所に避難した方の支援は避難所内で主に担っていただきますが、避難所生活においてボランティアの力が必要な場合は避難所運営委員会と連携して対応にあたることがあります。

これまでに説明した内容と、せたがや災害ボランティアセンターのこれまでの経験で多く寄せられた事例を以下に図示します。



## ●梅丘地区では？

サテライトは区内 96 か所の指定避難所に併設され、北沢地域には 18 か所設けられます。

梅丘地区では、山崎小学校、城山小学校、世田谷中学校、さくら花見堂に開設されます。避難所ごとに災害ボランティアの活動拠点を置くことで、地区の隅々までボランティア活動が行き届き、一日も早い復旧復興につながることを目指します。

せたがや災害ボランティアセンターは、これからも区と連携しながら、災害ボランティアコーディネーターの養成など、平時から災害への備えを進めていきます。

次回は、避難所運営訓練についてご案内します。